

水稻生育速報

令和3年7月26日
長岡農業普及指導センター

コシヒカリ定点調査ほの生育状況（7月26日現在、管内7か所平均）

葉色： 30.5 (SPAD) (指標値差 -2.3 = 淡い)

- コシヒカリの葉色値が急激に低下している（7月20日から2.5低下）。
また、1か月予報（令和3年7月22日発表）によると、平均気温は高いと見込まれており、葉色が淡いと栄養凋落による品質の低下が懸念される。
- コシヒカリの出穂期は当初予想（5月5～10日植えで8月4日頃）よりも早まる見込み。

今後の管理

1 葉色が淡い場合は追加の穂肥を施用する

- (1) コシヒカリの2回目の穂肥は必ず施用する。
- (2) 2回目の穂肥以降に葉色が低下し、コシヒカリの出穂期の葉色が指標値（SPAD値32～33）を下回ると予想される場合、走り穂が出る頃（出穂期3日前）までに、下表のめやすを参考に追加の穂肥を施用する。

【追加の穂肥のめやす】

	栽培体系	判断時期 葉色のめやす	施肥時期 施肥量	用いる 肥料
分 施	一般栽培 (化学肥料体系)	出穂期3日前の葉色 SPAD値31以下のとき	出穂期3日前 窒素成分1kg/10a以下	化成
	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期6日前の葉色 SPAD値33以下のとき	出穂期6～3日前 窒素成分1kg/10a以下	有機 100%
基 肥 一 発	特別栽培 (減化学肥料栽培)	出穂期10日前頃の葉色 SPAD値30以下のとき	出穂期10～5日前頃 窒素成分2kg/10a以下	有機 100%

2 こまめな水管理を実施

- (1) 出穂・開花期はイネが最も水を必要とする時期のため、飽水管理を徹底する。
- (2) 台風8号が7月27日に東北地方から東日本に接近し、上陸するおそれがある。
無降雨での強風に備えてかん水する。また、浸・冠水した場合は、速やかに排水する。

3 葉いもち防除とカメムシ防除を徹底

- (1) 葉いもちの発生が各地で確認されている。いもち病に弱い品種や多肥栽培のほ場で葉いもちの発生が多い場合は、穂いもちの防除を「出穂直前」及び「穂揃い期」の2回実施する。
- (2) 斑点米カメムシ類の防除は、品種ごとに出穂期を確認し、防除適期に合わせ確実に防除を実施する。

- 農作業事故に注意しましょう。特に草刈り作業は周囲に気を配ってください。
- 農作業時の熱中症に注意をしましょう。こまめな休憩と水分補給が大切です。

定点調査ほ場生育調査結果(令和3年7月26日現在)

※指標値は5月10日移植を想定。

品種	地点名	移植日	(参考) 前年 移植日	葉色			
				本年 (SPAD)	前年差	指標差	7/20 との差
コシヒカリ	長岡市乙吉町	5/11	5/13	27.2	▲ 4.5	▲ 4.8	▲ 4.2
	長岡市菅畑 (栃尾地域)	5/21	5/17	31.0	0.1	▲ 1.0	▲ 1.8
	長岡市小国町二本柳 (小国地域)	5/13	5/13	31.6	▲ 7.0	▲ 1.4	▲ 2.6
	長岡市岩田 (越路地域)	5/10	5/9	30.4	▲ 2.0	▲ 3.1	▲ 4.5
	長岡市寺泊京ヶ入 (寺泊地域)	5/16	5/18	31.2	▲ 3.3	▲ 2.3	▲ 2.8
	長岡市中条北 (中之島地域)	5/5	5/6	28.0	▲ 1.1	▲ 4.5	▲ 3.7
	小千谷市鴻巣	5/13	5/14	34.2	▲ 1.5	0.7	2.4
	コシヒカリ 平均	5/12	5/12	30.5	▲ 2.8	▲ 2.3	▲ 2.5
	※平場コシ平均	5/10	5/11	29.2	▲ 2.7	▲ 3.7	▲ 3.8
	※中山間コシ平均	5/15	5/14	32.3	▲ 2.8	▲ 0.6	▲ 0.7

※ 平場コシ : 長岡市乙吉・岩田・寺泊京ヶ入・中条北の4か所(それ以外を中山間コシに分類)